

# 「バプテストの教会形成I：日本に伝えられたバプテスト理解」

## 講義への呼びかけ

16世紀のヨーロッパで宗教改革前夜に叫ばれたスローガンは、人文主義者による「源泉に戻れ」でした。当時、混沌の中にあつたキリスト教会もこの響きを受けて、自らの源泉を聖書に求め、直接そこへと戻ろうとしました。バプテスト派はこの宗教改革の流れを汲んで誕生し、宗教改革の精神と理想を徹底しようとしました。

昨今、コロナ・ウィルス感染拡大の脅威に晒される私たちも、ある意味、混沌の中にあるとは言えないでしょうか。信仰者も教会もそれぞれに試練に直面し、さまざまな課題が浮上してきました。しかし、私たちの間には、実はこれら諸課題はコロナ・ウィルス感染拡大前からすでに存在していたことを気づいている人たちもいると思います。このたびのコロナ・ウィルス感染拡大は、すでにあったそれら諸課題の前に私たちを否応なく立たせました。そして、世にある教会について、教会の交わりの質について考えさ

るとともに、礼拝、説教、聖書、祈り、教会学校、伝道など、これまで当たり前のように行われて来た教会のさまざまな意味するところとその目的を改めて問わせる迫りをもたらしました。これは辛い迫りです。しかし、反面、ここでしばし歩を止め、考える豊富な時間が提供されているとも言えます。地味でもよい。小さくてもよい。私たちのこれまでの振り返りと思案の時となれば、素晴らしいと思います。それを通して、仕切り直しをし、再び歩を前に進めたいと願います。

この度、東京バプテスト神学校から頂いたテーマは「バプテストの教会形成」です。バプテストの歴史を研究する者が、教会の厳しい現実と、そこにおける「教会形成」についてどのような講義ができるか。その挑戦を受けています。「バプテストという仕方で・キリストの体なる教会を・建てる」思索と模索の機会となれば嬉しく思います。

## 講義1 バプテストと教会

【概要】バプテストが誕生した時、その関心の中心には「聖書の教える教会をつくる」という大きな夢がありました。確かに万人祭司、政教分離や信教の自由の擁護に心は注ぎましたが、その拠点(ベース)は「聖書の教える教会」でした。バプテスト誕生の背景とその時に直面した課題を知り、バプテストが建てようとした教会像について一緒に学びます。

## 講義2 イングランドからアメリカへ

【概要】アメリカのバプテストは、イギリス・バプテストの「支店」として始まったものではありません。アメリカ・バプテストの先達は、バプテストの伝統と遺産を、宗教的にも社会的にも故国イギリスとは異なる新天地で開花させたのでした。私たちにバプテストの信仰を伝えたアメリカのバプテストの始まりを学びます。

## 講義3 アメリカのバプテスト①：マイノリティー（少数派）としての課題

【概要】最初のアメリカ・バプテストは、当時ニューイングランド植民地と呼ばれたアメリカ北東部に位置したイングランドの植民地で芽を出しました。ピューリタンの移民が大多数を占める中、バプテストたちは少数派として苦闘を強いられました。同時にその中で自らのアイデンティティーが問われた時期でもありました。そのような中で、いかにバプテストであり続けようとしたかを学びます。

## 講義4 アメリカのバプテスト②：マジョリティー（多数派）としての課題

【概要】長い間、少数者の立場に甘んじていたバプテストは次第に社会的評価を得るようになり、徐々にマジョリティー（多数派）への道を歩むこととなります。何がバプテストを多数派へと押し出したのでしょうか。少数派から多数派となったバプテストの課題はどのようなものだったのでしょうか。独立戦争、信仰大覚醒、西部開拓など、アメリカ史のエポックに触れながら学んでゆきます。

## 講義5 南部バプテスト連盟結成

【概要】19世紀の半ばまで、アメリカのバプテストは国内でひとつの教派組織を形成し、「アメリカのバプテスト」として協力伝道に勤めました。しかしその後、南北戦争によって、南北のバプテストはそれぞれの道を歩みようになり、それ以後、組織としての協力関係は希薄になりました。私たちと歴史的に関係のある南部バプテスト連盟の結成はこれと無関係ではありません。日本にバプテストの信仰を伝えた南部バプテスト連盟の誕生を学びます。

## 講座開催要領

日時 2022年8月11・12日(木・金)

場所 茗荷谷キリスト教会礼拝堂(東京都文京区大塚1-1-18)

テーマ 「バプテストの教会形成I：日本に伝えられたバプテスト理解」

講師 金丸 英子先生 (西南学院大学神学部教授)

教科書 『見えてくるバプテストの歴史』(関東学院大学出版会、斎藤・村椿他)  
『ここに立って私たちは』宣研ブックレット6(日本バプテスト連盟宣教研究所)  
参考書 『資料バプテストの信仰告白(改訂版)』(ヨルダン社、斎藤・高野)

## 参加費

- 後援会受講：受講料 7,500 円(卒業生・牧師・主事も同額、但し単位取得はできません)
- 本科生：受講料12,500円 ●一般受講者：受講料 15,000 円
- \*通信受講は+5,000 円の通信事務費が必要です。
- \*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。



## 2022年度 夏期公開講座申込書

### I. 所属(□に印をつけてください)

- ①在学生 □神学専攻科 □教会教育専攻科 □教会音楽専攻科  
□本科 □教会音楽本科 □信徒リーダー養成コース □聴講生
- ②受講料半額対象者 □後援会受講 □卒業生 □連盟加盟教会牧師・主事  
□神学校理事 □神学校教師
- ③一般受講者 □一般受講者

### II. 参加形態(□に印をつけてください)

- 通学 □ビデオ通信 □ライブ通信(zoom 経験者のみ)
- 教会共同受講として参加(□ライブ通信 / □ビデオ通信)  
\*教会に複数人が集まって教会共同受講をすることができます。  
その場合後援会会員であれば半額(7,500円)で受講できます(教会共同受講は原則2名以上)。
- 全日程 □部分参加(□講義I □講義II □講義III □講義IV □講義V)  
\*通信受講による部分参加は受付できませんのでご了承ください。

### III. 申し込み者

(ふりがな)

氏名:

郵便番号: 〒

住所:

電話番号:

所属教会:

Eメールアドレス:

## お問合せ

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局  
●TEL.03-3947-5141 ●FAX.03-3947-5145 ●E-mail seminary@tbts.jp

お申込み締切 2022年7月29日(金)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、  
教室での受講は40名までに限定します。